

TEL(0847)32-7138
FAX(0847)32-8406

くい文化センターだより 高原のそよ風



澄んだ空や吹く風に秋の気配を感じ、虫の声にも癒される季節となりました。

皆さま 夏のお疲れは出ていませんか。

目に見えない新型コロナウイルス感染症、なかなか収束しませんが、自己の感染防止対策は習慣になってきているのではないのでしょうか。体調管理には十分に気をつけられて健康にお過ごしください。



体験講座 季節を彩るフラワーアレンジ

季節のアレンジを楽しんでみませんか。お申し込みをお待ちしています。

日時：9月30日(木) 13:30~15:00

場所：くい文化センター 楽屋1・2

参加費：1,700円(受講料200円含む)

持参物：花バサミ・新聞紙・筆記用具・水分補給水

募集人数：12人

申込期限：9月27日(月)まで

申込先：くい文化センター TEL (0847) 32-7138

※新型コロナウイルス感染の状況によっては、延期または中止する場合があります。



くい文化センター主催講座「クラフトあらかると」作品展示

普段使いのA4サイズボックス・ダストボックス・バッグなどの作品を展示をしています。ぜひご覧ください。



豊かな里山のシンボル

久井の学び ヒョウモンモドキ



【ヒョウモンモドキの飼育下繁殖の具体的な取り組み】

●3月末~4月上旬：幼虫を回収しプランターに移す
春活動を開始した幼虫はケージ内から回収して、カエルやハチなどの天敵を防ぐために、プランターに入れてネットで覆う。えさがなくなったら取り替える。

●5月中旬：プランターを開けて蛹を出す
プランター内で蛹になったら、ネットを外して羽化できるようにする。

●6月：成虫の羽化
ケージ内で自然に羽化、交尾、産卵をする。ノアザミの花を欠かさないように、ノアザミの切り花を供給する。
(農薬がかかっている心配のない場所から採取)

●7~8月：夏の幼虫
ケージ内のプランターで自然に卵から孵化して、越冬幼虫まで育つ。えさがなくなったら追加。

出典：「豊かな里山のシンボル ヒョウモンモドキ」より



久井図書館から

*展示 「全国御城印図録」と新高山城の御城印
期間：9月1日(水)~30日(木)
久井町在住の池田幸翠(雅号)さんが書かれた新高山城の御城印6種とその御城印が表紙に採用された図録

*お話し会 9月25日(土) 13時30分~
読み語りボランティアさん

*休館日のお知らせ
7日(火)、14日(火)、20日(月)、21日(火)、
23日(木)、28日(火)

☞施設周辺の草をボランティアで綺麗に刈っていただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

